

市長との対話集会開催記録

団体名	市長と対話をする会	実施日	令和5年11月16日(木)
実施場所	コミュニティセンター 会議室	参加人数	8名

【主な内容】

- ・市のPR手法
- ・農業振興
- ・水道水などのPFAS汚染への対応
- ・蛍光灯やリチウム電池の回収方法
- ・堆肥の取り組み(SDGs)について



【対話内容(抜粋)】

Q

北名古屋市は県内でも大変住みやすい町だと思っている。市について総合的に紹介するものを作成するなど、市民への効果的な周知方法を検討してほしい。また、市外や国外にも広く市の魅力をアピールしてはどうか。

市のPRについては、どんどんやっていきたいと思っています。今、動画の活用に積極的に取り組んでいるのですが、採用試験の案内動画を作成して流したら、その動画を見て採用試験に来てくれた方も多くいらっしゃいました。子育て施策や昭和日常博物館など、伝え方や見せ方をもっと工夫して、皆さんに知って貰えるようにPRしていきます。

また、現在、市の名産品作りに取り組んでおります。「〇〇の北名古屋市」と認識してもらえるような、市の魅力作りを進めてまいります。

A

Q

市民説明会で都市計画税が上がると聞いたが、農地には税金面での優遇措置をしてほしい。都会化するのではなく、農地は農地として有効に活用してほしい。

市民説明会では、お叱りの言葉をいただくことを覚悟して都市計画税の話をしました。市長として今最も心配しているのは、ゲリラ豪雨などの水害です。雨水対策も資金が必要ですが、収入には限りがある。例えば福祉に回しているお金を充てれば雨水対策はできるかもしれないけれど、困る人が沢山出てくる。どうしたら良いのか、検討材料の一つとして都市計画税について話をしました。こうした率直な意見をいただくために、対話集会を行っています。農地については議会も含めて、皆で議論をしていかななくてはならないと考えています。

A